

西東京バスの「児童館前」バス停が2月に屋根付きへ！

町会の大きな懸案事項がまた一つ実現することになりました。町会は昨年7月、西東京バスや八王子市道路交通部に対して「児童館前」のバス停を屋根付きのバス停にしてほしいと要請してきました。このバス停は平成22年1月に「施設が老朽化したから」との理由で撤去され、京王八王子方面行きのバス停では唯一、屋根付きでないバス停でした。利用者は高齢者が多く、昨年6月には暑さのために倒れるという事態が発生するとともに、雨や雪の日などの悪天候の時には屋根付きバス停は必要不可欠で、切実な課題でした。



西東京バスは東京都、八王子市道路交通部交通課とも協議し、地元利用者の意向を重視して、この2月14日に工事着工、2月18日から使用開始する予定であることを明らかにしてきました。屋根付きバス停の設置は町会にとって大きな懸案事項であり、8年ぶりの解決に関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

道路が凍結しないよう隣近所の協力で早めに除雪を

4年前の平成26年2月、東京で記録的な大雪に見舞われ、町会内でも30世帯以上の車庫が損壊するなど、大きな被害を受けました。今年1月22日の大雪は大きな被害は出なかったものの、4年前を上回る記録的な大雪で、生活道路を確保するための除雪に大変苦労しました。しかも、今年は厳しい寒波が居座り続け、道路が凍結したり、水道管が破裂しました。そして、2月1日から2日にかけてまた雪となり沢山積もったものの、気候が暖かかったために雨となって凍った道路の雪も解けてさいわいでした。雪はこれで終わったわけではなく、2月、3月も引き続き降ることを覚悟しなければなりません。

町会内の道路は6,7,8区を中心に比較的坂道が多く、狭いのが特徴です。しかも、人気のない空き地、空き家や一人暮らし、高齢者世帯など雪かきが物理的に困難な箇所が数多くあります。とくに日陰となる道路は凍結して危険なために、早めの除雪が重要です。このような場所については隣近所で協力して除雪するようにお願いいたします。とくに若い人たちが率先して行動を起こすことを強く要請します。

町会短信

□お悔やみを申し上げます

7区 山本 一興様(享年76歳)12月21日 逝去

7区 西 輝夫様(享年80歳)1月22日 逝去

※西さんは平成18年から5年間、さくら台自治会の副会長、平成23年から5年間、船田友愛会の会長を歴任しました。温厚な人柄は多くの人たちから慕われ、適切な判断、指導力によって高齢者の生きがいを高めるための船田友愛会の活動に大きな功績を残しました。心から感謝とご冥福をお祈り致します。



□舟田道拡幅工事の促進で道路交通部へ要請

一方通行の解除や郵便ポストの新設、屋根付きバス停など、町会の懸案が次々に解決していく中で、残されているのが舟田道拡幅工事。町会は1月16日、道路交通部計画課へ今年度4回目の要請を行いました。とくに拡幅箇所が上下の段差が大きい構造的な問題を抱えて概略設計も難儀し、工事計画が前へ進まないことから、平成29年度は問題ない箇所の土地買収が1箇所終了したのみでした。町会は工事を促進するためにも具体的な作業を促進し、来年度予算を確保するよう強く申し入れました。

船田子ども会に入って餅つき大会へ参加しましょう！

□ 3月4日 11時から 船田会館

□ 新1年生と6年生の歓送迎会も開催します。 船田子ども会

